

人のうごき

平成20年2月届出分を掲載(希望者のみ)

おたんじょう

佐藤 ^{はるき}春輝^{くん} (隆明・理恵) 栄町

ごけっこん

亀谷 広幸^{さん} 谷口 恵美^{さん} 南2の3

おくやみ

柳谷 サクラ ^{さん}	94歳	港町
小林 一壽 ^{さん}	47歳	港町
今 きよ ^{さん}	89歳	南1の4
佐藤 ヒナ ^{さん}	83歳	南2の3
杉澤 芳雄 ^{さん}	86歳	南5の3
村上 富藏 ^{さん}	83歳	北2の2
前川 渡 ^{さん}	95歳	北5の2
大屋 久美子 ^{さん}	75歳	北町
逢坂 フヨ ^{さん}	90歳	幸町
江端 思月 ^{さん}	85歳	栄町
三浦 末吉 ^{さん}	92歳	栄町
山本 ちや ^{さん}	99歳	栄町
朝桐 清一 ^{さん}	70歳	栄町
鳥山 和人 ^{さん}	53歳	栄町
和田 静子 ^{さん}	71歳	天売
佐藤 マス ^{さん}	91歳	天売

人口と世帯数(2月末)

人口	8,590人	(-31)
男	4,066人	(-11)
女	4,524人	(-20)
世帯数	3,967世帯	(-9)

()は前月比



飛び立つ(写真:狩原 君枝氏)
第2回二島物語フォトコンテスト佳作作品

先月は屋外で開催されたイベントや事業をいくつか取材しました。いずれも、会場では子どもたちが冬の寒さなど気にせず元気に走りまわっていました。太陽の下で体を動かすのは気持ちいいですね。

さて、冬の寒さといえば先月はじめて「けあらし」を見ました。留萌沿岸ではひと冬に10日くらいは発生するそうなので、見たことのある方は意外と多いかもしれません。

けあらしが発生する原因は、内陸からの冷たい空気が暖かい海上に流れ込み、立ち上った水蒸気が冷やされて霧になるためで、この仕組みは結構知られていると思います。北海道のような寒冷地ならではの現象とあって、実は「けあらし」は北海道の方言なのだそうです。しかも、発祥はこの留萌地方といわれているそうです。(一)

編集後記

言葉の話題をもう一つ。NHK放送文化研究所のホームページに掲載されていたものです。

私たちが慣れ親しんでいた「官製はがき」という言葉ですが、日本郵便株式会社に変わったことで「官製と呼ぶことができなくなりましたよ」ということです。同じはがきでも、色やサイズに自由度がある私製はがきでは、懸賞などの応募でくじ引きの公平さを保つことができないため、官製はがきで統一する必要があるようですが、これから番組でどう呼ばいいか担当者が頭を悩ませているということでした。実物を見れば誰もがわかるモノの名前がなくなる、という不思議な事態が発生しているようです。

ちなみに、正式な呼称は「郵政はがき」に変更されたようですが、みなさんはご存じでしたか？(二)

